

2022 年 11 月 24 日（木）

株式会社ボーネルンド

あそびの知見を活用し、地域の子育てに関する課題解決に貢献
千葉県 柏市、神奈川県 逗子市との取り組みご紹介
子どもの健全育成や子育て支援を推進する協定を締結

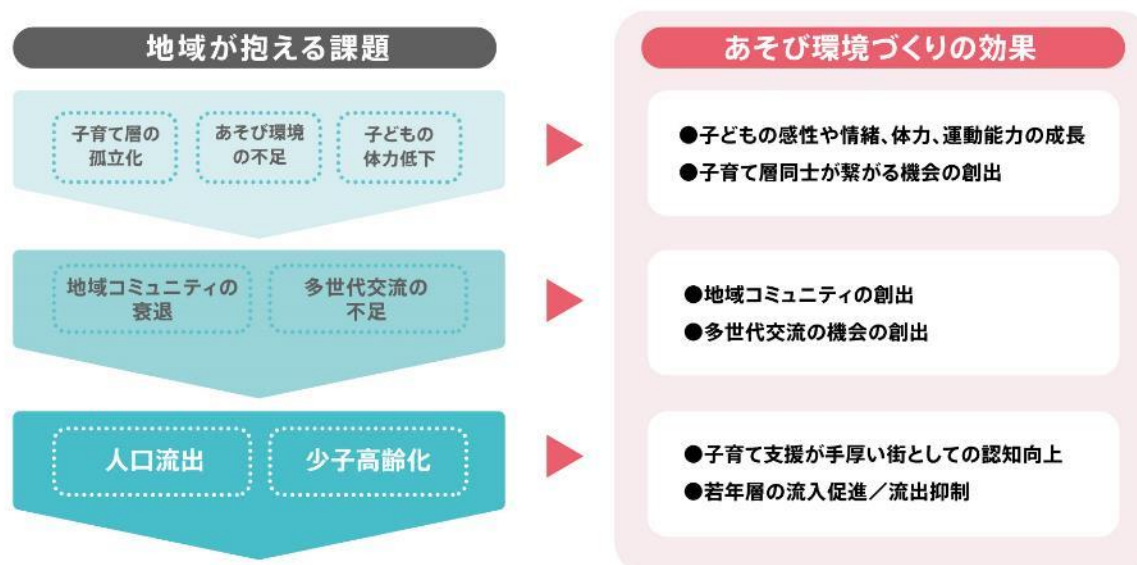
子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、あそびを通じた自治体との協業を加速しています。今年 10 月 4 日に千葉県柏市と「子育て支援に関する包括連携協定」を、10 月 13 日には神奈川県逗子市と「親子遊びの場づくり等パートナー協定」を締結し、あそびを通じた子どもの健全育成や子育て支援の取り組みを推進することに合意しました。

あそびの知見を生かし、社会インフラとしての「あそび場」を開発。自治体と連携してあそび環境を拡大

昨今、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力の低下が危惧されています。また、核家族化が進み、地域のつながりが希薄になるなかで、身近に相談相手が少なく、一人で子育てに悩む親の「孤育て」も課題です。

当社はこうした課題の解決に向け、自社の室内あそび場「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、自治体と協働して、これまで全国に 60 ヶ所以上の「あそび場」を開発してきました。近年では、公園や公共施設などで実施できる「移動式のあそび場」を提供し、外遊びを楽しむきっかけづくりも行っています。このようなあそび場というハード面に加えて、人材やプログラム、運営などのソフト面も提供しています。特に、親子のあそびを促し、あそびを発展させ、人をつなげる「プレイリーダー」の存在は、あそび場やイベントで高く評価いただいています。これらのリソースを活用することで、子育て中の親と子に加えて、幅広い世代の方々が交流するきっかけを生み出しています。あそび場は、地域のコミュニティのハブとして街の活性化にも寄与しています。

「あそび」が地域の課題を解決するソリューションに



千葉県柏市「子育て支援に関する包括連携協定」締結：2022 年 10 月 4 日

千葉県柏市は、千葉県北西部に位置する、人口約 43 万人の街です。大型商業施設や飲食店、娯楽施設等が充実し、都心へのアクセスも良いことから住みたい街としても人気です。子育て世代の転入も増加しており、教育・保育施設の整備や、地域と行政が連携した子育て施策の充実化を推進しています。

昨年 6 月には、コロナ禍で家に閉じこもりがちな子育て世帯の支援や子どもの遊びと発達の支援を目的に、「柏市ソトアソビ運営事業業務委託」に関する業務委託契約を当社と締結しました。市と協力して、乳幼児とその親向けに、公園や公共施設などで移動式あそび場によるイベントを提供しました。イベントが好評だったことを受けて、10 月 4 日に「子育て支援に関する包括連携協定」を締結し、当社が柏市に助言・相談、ノウハウを提供することで柏市の子ども・子育て支援事業を推進することに合意しました。



移動式あそび場イベント 実施の様子

【 柏市「子育て支援に関する包括連携協定」概要 】

■ 目的

柏市の新しい子ども・子育て支援の取り組みとして、子どもの成長を大きく促す新しい体験・価値の提供について、柏市とボーネルンドの連携を通じて推進すること。

■ 締結日

2022 年 10 月 4 日

■ 内容

- ・子ども・子育て支援に関すること
- ・子ども・子育て支援活動への協力及び参画に関すること
- ・子ども・子育て支援に関する環境整備に関すること
- ・養成講座、研修会等の人材育成及び先進地視察等の研究業務に関すること
- ・自然災害や緊急事態発生時の子ども・子育て支援に関すること
- ・その他、目的を達成するために必要な業務及び市民サービスの向上に関すること



包括連携協定 締結式の様子

<今後、予定・検討している取り組み>

- ・市内の子育て環境整備サポート
- ・市内施設職員向け研修
- ・子育て支援活動への協力・参画

神奈川県逗子市「親子遊びの場づくり等パートナー協定」締結：2022 年 10 月 13 日

神奈川県逗子市は、三浦半島の北西部、相模湾に面する人口約 5.8 万人の街です。誰もが心豊かに子どもを中心とした子育てができるまちを目指すため、2020 年 3 月には「逗子市子ども・子育て支援事業計画 2020～2024」を策定しました。

桐ヶ谷覚市長は「子育て支援に全力投球」を公約に掲げ、体験学習施設スマイルのより一層の活用や、逗子の自然を活かした保育活動を行っている団体と子育て世代のマッチング、小児医療費助成を満 18 歳まで拡大するなど、「子育てで選ばれるまち」を目指しています。その中で、10 月 13 日に「親子遊びの場づくり等パートナー協定」を締結し、当社が有する、優れたあそび道具と環境の提供を通して子どもの健全育成を推進していくことに合意しました。

【逗子市「親子遊びの場づくり等パートナー協定」概要】

■ 目的

逗子市とボーネルンドの連携により、逗子市の自然やまちの環境を生かして「親子遊びの場づくり」や「遊びを通じた子どもの居場所づくり」を充実させ、子どもの健全育成を推進すること。

■ 締結日

2022 年 10 月 13 日

■ 内容

<実施が確定していること>

内容：「ボーネルンド遊具体験イベント」の開催

日時：2022 年 11 月 27 日（日）

場所：第一運動公園内「こどもひろば」（雨天時：逗子小学校体育館）

対象：市内に住む、6 ヶ月から 12 歳までの子ども（保護者同伴）

定員：親子合わせて各回 40 名（定員超過の場合は抽選）



パートナー協定 締結式の様子

<今後、予定・検討している取り組み>

- ・移動式あそび場の開催
- ・人材研修サポート
- ・市内の施設整備サポート
- ・逗子市の自然（海・山等）を活用した取り組み

【参考】その他の自治体との協業事例紹介（神奈川県 南足柄市・相模原市）

神奈川県南足柄市：「南足柄市こどもの遊び場づくりパートナー協定」（2022 年 7 月締結）



南足柄市では、昨今の子育て世代をはじめとした人口の減少に対応するべく、子どもと子育て家庭を支えるまちづくりを推進し、今年 4 月には大雄山駅前の商業施設「ヴェルミ 2」の 3 階に、「南足柄市子育て支援拠点施設 にこっと」を開設しました。今年 7 月 27 日には「南足柄市こどもの遊び場づくりパートナー協定」を締結し、子どもが健やかに成長できるよう、自然豊かな市の環境を生かしたあそび場づくりを両方で推進していくことに合意しました。その後 10 月 23 日には、南足柄市運動公園ゲートボール場にて「南足柄市移動式あそびば」を開催。60 組の親子に参加いただき、新たな交流機会となりました。

神奈川県相模原市：「移動式子どもの遊び場」事業（2022 年 6 月～）



神奈川県相模原市では、子育てがしやすい地域づくりのために、子どもが生まれ育った環境によらず、健やかに成長できる街をつくる事業計画「さがみはら子ども応援プラン」を策定・推進しています。その一環として、市内の屋内外施設を活用し、多様な遊具を揃えた「移動式子どもの遊び場」を展開する事業を、当社と協業して今年 6 月より開始しました。身体を動かすあそびや創造力を養うあそびを通じて子どもたちの成長を後押しし、子育て家庭の孤立化を防ぐことを目指し、未就学児とその保護者を対象に実施しています。10 月 29 日には橋本公園にて「第 4 回移動式子どものあそび場」を開催し、107 組の親子に参加いただきました。家ではできないダイナミックなあそび体験と、参加者同士の交流の機会を生み出しました。

【 ボーネルンドについて 】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 62 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などで、高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では「プレイヴィル」「トット・ガーデン」を含む直営のあそび場全国 23 ヶ所を展開しています。さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた行政のあそび場を全国約 60 ヶ所プロデュース。あわせて年間 350 万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報部

担当：西山、村上

TEL：03-5785-0860、080-5901-3591

e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）】

株式会社ボーネルンド

TEL: 0120-358-518（月～金 10:00～17:00）